



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 フジテック株式会社

コード番号 6406 URL <http://www.fujiitec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 内山 高一

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員財務本部長 (氏名) 加藤 義一

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日

TEL 0749-30-7111  
平成27年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	83,728	13.2	6,723	27.4	7,359	24.6	4,633	39.0
27年3月期第2四半期	73,976	12.7	5,275	4.4	5,906	5.1	3,333	11.4

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 6,427百万円 (175.0%) 27年3月期第2四半期 2,337百万円 (△76.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	57.45	57.41
27年3月期第2四半期	35.95	35.94

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	176,663	102,146	50.9
27年3月期	179,856	104,620	51.9

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 89,860百万円 27年3月期 93,321百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
28年3月期	—	15.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	5.9	14,000	3.8	15,000	1.2	8,500	1.7	105.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

28年3月期2Q	93,767,317 株	27年3月期	93,767,317 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

28年3月期2Q	13,373,951 株	27年3月期	6,941,786 株
----------	--------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	80,643,801 株	27年3月期2Q	92,723,723 株
----------	--------------	----------	--------------

(注)自己株式数には、当連結会計期間末に従業員持株会支援信託ESOPとして保有する当社株式667,600株を含めて表示しています。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了し、平成27年11月6日付でレビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
4. その他	12
(1) 受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

(金額単位：百万円未満切捨て)

	前第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日～ 2014年9月30日)	当第2四半期 連結累計期間 (2015年4月1日～ 2015年9月30日)	前年同四半期比 (%)
売上高	73,976	83,728	13.2
国内	26,890	28,074	4.4
海外	47,085	55,653	18.2
営業利益	5,275	6,723	27.4
経常利益	5,906	7,359	24.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,333	4,633	39.0
1株当たり四半期純利益	35.95円	57.45円	—

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国の景気減速が続くとともに、その他のアジア地域の景気拡大ペースも鈍化しました。一方で、北米では内需を中心に景気の拡大が続き、欧州でも景気は緩やかに回復しました。日本では、雇用情勢や個人所得の改善により、景気は緩やかな回復基調が続きました。

昇降機業界におきましては、中国では、不動産開発投資は低調に推移し、需要は前年同四半期並みとなりました。その他のアジア地域でも需要は停滞しましたが、北米での需要は堅調に推移しました。日本では、首都圏で複合商業施設の開発計画が継続している一方、建築費の上昇から新規着工を手控える動きも見られました。マンション販売は、近畿圏で減少となりましたが、首都圏では前年同四半期並みまで回復しました。

このような情勢のもと、当第2四半期連結累計期間の国内新設事業は、首都圏を中心にマンション向けの受注が堅調であったものの、店舗やオフィス向けの新規開発計画が先送りになったことなどから、受注が減少しました。既設エレベータの安全性・快適性を高めるモダニゼーション事業は、主力商品の「制御盤交換パッケージ」や適用機種を拡大した「安全向上パッケージ」が堅調に推移しました。

以上の結果、国内受注高は344億1百万円（前年同四半期比12.9%減）となりました。

海外受注高は、北米での増加や円安により、599億8百万円（同16.2%増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた海外受注高は、実質1.4%増となっています。

以上の結果、受注高合計は、943億10百万円（同3.6%増）となりました。

売上高は、国内売上高280億74百万円（前年同四半期比4.4%増）、海外売上高556億53百万円（同18.2%増）となり、合計で837億28百万円（同13.2%増）となりました。なお、海外売上高は為替変動による影響を除くと、実質3.3%増となっています。

受注残高は、国内受注残高541億43百万円（前連結会計年度末比13.3%増）、海外受注残高1,380億48百万円（同16.0%増）となり、合計で1,921億92百万円（同15.3%増）となりました。なお、海外受注残高は為替変動による影響を除くと、実質3.1%増となっています。

損益面では、営業利益は北米での損益改善および東アジアでの増益により67億23百万円（前年同四半期比27.4%増）、経常利益は73億59百万円（同24.6%増）となりました。税金等調整前四半期純利益は、73億9百万円（同22.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は46億33百万円（同39.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(金額単位：百万円未満切捨て)

	売 上 高			営業利益または営業損失		
	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比 (%)	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	前年同四半 期比増減額
日 本	29,313	30,438	3.8	1,898	1,951	53
北 米	7,832	10,718	36.9	△571	△141	430
欧 州	269	230	△14.5	△16	△35	△18
南アジア	7,422	8,757	18.0	812	1,125	313
東アジア	34,465	39,909	15.8	3,085	3,822	737
小 計	79,302	90,054	13.6	5,206	6,723	1,516
調 整 額	△5,325	△6,326	—	68	△0	△69
合 計	73,976	83,728	13.2	5,275	6,723	1,447

(日 本)

売上高は、新設工事、モダニゼーション工事ともに増加し、304億38百万円（前年同四半期比3.8%増）となりました。営業利益は、外注費増加や円安によるコスト上昇に対し、新設販売価格の改善やモダニゼーション売上の増加により、19億51百万円（同53百万円増）となりました。

(北 米)

売上高は、新設工事やサービス事業の伸長により、107億18百万円（前年同四半期比36.9%増）となりました。営業損益は、新設工事の採算改善などにより、前年同四半期比4億30百万円改善の1億41百万円の営業損失となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質21.0%増となりました。

(欧 州)

売上高は、エスカレータ販売の減少により、2億30百万円（前年同四半期比14.5%減）となり、35百万円の営業損失（前年同四半期 営業損失16百万円）となりました。

(南アジア)

サービス事業が拡大し、売上高は87億57百万円（前年同四半期比18.0%増）、営業利益は、11億25百万円（同3億13百万円増）となりました。なお、為替変動による影響を除いた売上高は、実質7.7%増となりました。

(東アジア)

売上高は、円安の効果もあり前年同四半期比15.8%増の399億9百万円となりましたが、為替変動による影響を除くと中国での減少が影響し、実質0.4%減となりました。営業利益は、香港で採算が改善し、38億22百万円（同7億37百万円増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産、負債純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産額は、1,766億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億93百万円減少しました。これは主に、商品及び製品、原材料及び貯蔵品の増加に対し、現金及び預金が減少したことによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億19百万円減少し、745億16百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加に対し、電子記録債務および賞与引当金が減少したことによります。

純資産額は、1,021億46百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億74百万円減少しました。これは主に、利益剰余金の増加35億82百万円に対して、自己株式の取得76億66百万円および非支配株主持分が9億81百万円増加したことによります。また、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は50.9%（前連結会計年度末比1.0ポイント減）となり、1株当たり純資産額は1,117.75円（同42.93円増）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、222億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ83億58百万円減少しました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益73億9百万円に対し、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、法人税等の支払などで、18億90百万円の収入（前年同四半期比32億50百万円の収入減）となりました。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

定期預金（期間が3ヵ月超）の預入れ・払戻しの純額11億77百万円、有形固定資産の取得23億15百万円の支出などにより、31億円の支出（前年同四半期比25億67百万円の支出増）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

主に自己株式の取得76億66百万円により、76億8百万円の支出（前年同四半期 4億64百万円の収入）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2016年3月期（2015年4月1日～2016年3月31日）の連結業績予想につきましては、2015年5月13日に公表した予想を修正しております。

2016年3月期 連結業績予想数値の修正（2015年4月1日～2016年3月31日）

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	175,000	15,000	16,000	9,000	111円81銭
今回発表予想（B）	175,000	14,000	15,000	8,500	105円40銭
増減額（B－A）	—	△1,000	△1,000	△500	—
増減率（%）	—	△6.7	△6.3	△5.6	—
（ご参考）前期実績 （2015年3月期）	165,297	13,488	14,826	8,356	90円84銭

## 修正の理由

売上高は、前回予想と同額の1,750億円となる見通しです。損益面では、主に中国の景気減速や競争激化により、営業利益は140億円となる見込みです。営業利益の減少に伴い、経常利益は150億円、親会社株主に帰属する当期純利益は85億円にそれぞれ修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の資本剰余金が0百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	51,674	44,750
受取手形及び売掛金	53,184	53,266
商品及び製品	6,333	7,658
仕掛品	6,403	6,160
原材料及び貯蔵品	7,817	9,285
その他	8,167	8,859
貸倒引当金	△1,445	△1,692
流動資産合計	132,134	128,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,446	20,065
機械装置及び運搬具（純額）	2,677	3,111
工具、器具及び備品（純額）	1,953	2,028
土地	6,948	6,947
リース資産（純額）	—	14
建設仮勘定	2,859	1,881
有形固定資産合計	32,885	34,047
無形固定資産		
のれん	685	627
その他	3,626	3,671
無形固定資産合計	4,311	4,299
投資その他の資産		
投資有価証券	7,977	7,354
長期貸付金	14	14
その他	2,662	2,787
貸倒引当金	△130	△130
投資その他の資産合計	10,524	10,025
固定資産合計	47,722	48,373
資産合計	179,856	176,663

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2015年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,247	15,796
電子記録債務	5,281	4,000
短期借入金	7,911	9,351
1年内返済予定の長期借入金	352	18
未払法人税等	1,706	1,591
賞与引当金	3,241	2,691
工事損失引当金	6,421	6,251
その他の引当金	378	258
前受金	22,533	23,010
その他	8,333	7,436
流動負債合計	71,406	70,405
固定負債		
長期借入金	1,379	1,618
退職給付に係る負債	1,103	1,385
その他	1,347	1,107
固定負債合計	3,829	4,111
負債合計	75,236	74,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,533	12,533
資本剰余金	14,565	14,566
利益剰余金	75,239	78,822
自己株式	△7,826	△15,429
株主資本合計	94,512	90,493
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,435	2,008
繰延ヘッジ損益	—	0
為替換算調整勘定	△3,540	△2,582
退職給付に係る調整累計額	△86	△59
その他の包括利益累計額合計	△1,191	△633
新株予約権	56	61
非支配株主持分	11,243	12,225
純資産合計	104,620	102,146
負債純資産合計	179,856	176,663

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2014年4月1日 至2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2015年4月1日 至2015年9月30日)
売上高	73,976	83,728
売上原価	58,217	65,418
売上総利益	15,758	18,309
販売費及び一般管理費	10,483	11,586
営業利益	5,275	6,723
営業外収益		
受取利息	442	505
受取配当金	135	111
その他	211	187
営業外収益合計	789	805
営業外費用		
支払利息	29	46
為替差損	72	66
その他	56	56
営業外費用合計	158	169
経常利益	5,906	7,359
特別利益		
固定資産売却益	1	9
投資有価証券売却益	83	—
特別利益合計	84	9
特別損失		
固定資産除売却損	23	25
退職特別加算金	—	34
特別損失合計	23	59
税金等調整前四半期純利益	5,967	7,309
法人税、住民税及び事業税	1,719	1,773
法人税等調整額	34	△62
法人税等合計	1,754	1,710
四半期純利益	4,213	5,598
非支配株主に帰属する四半期純利益	879	965
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,333	4,633

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	4,213	5,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	365	△426
繰延ヘッジ損益	2	0
為替換算調整勘定	△2,299	1,229
退職給付に係る調整額	55	26
その他の包括利益合計	△1,875	828
四半期包括利益	2,337	6,427
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,879	5,190
非支配株主に係る四半期包括利益	457	1,236

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年4月1日 至 2014年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	5,967	7,309
減価償却費	1,131	1,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	13	206
受取利息及び受取配当金	△577	△617
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△510	△573
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	44	△180
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,843	586
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△115	△2,143
仕入債務の増減額 (△は減少)	714	△1,067
前受金の増減額 (△は減少)	4,764	△16
有形固定資産除売却損益 (△は益)	21	15
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	292	329
その他	△969	△1,211
小計	8,935	3,913
法人税等の支払額	△3,793	△2,022
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,141	1,890
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△6,183	△9,232
定期預金の払戻による収入	6,853	8,055
有形固定資産の取得による支出	△1,618	△2,315
有形固定資産の売却による収入	4	23
投資有価証券の売却による収入	178	—
利息及び配当金の受取額	533	658
その他	△301	△290
投資活動によるキャッシュ・フロー	△532	△3,100
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,952	1,426
長期借入れによる収入	—	340
長期借入金の返済による支出	△95	△435
自己株式の取得による支出	△0	△7,666
利息の支払額	△27	△48
配当金の支払額	△1,215	△1,050
非支配株主への配当金の支払額	△225	△248
その他	76	73
財務活動によるキャッシュ・フロー	464	△7,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	△834	460
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,237	△8,358
現金及び現金同等物の期首残高	20,903	30,602
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,141	22,244

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2015年4月8日の取締役会決議に基づき、自己株式6,491,400株(7,666百万円)の取得を行いました。この取得等により、当第2四半期連結累計期間において自己株式が7,602百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末において自己株式は15,429百万円となりました。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2014年4月1日至2014年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	27,200	7,823	265	7,422	31,264	73,976	—	73,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,112	8	3	—	3,200	5,325	△5,325	—
計	29,313	7,832	269	7,422	34,465	79,302	△5,325	73,976
セグメント利益又は 損失(△)	1,898	△571	△16	812	3,085	5,206	68	5,275

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額68百万円には、セグメント間取引消去40百万円およびたな卸資産の調整額28百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注2)
	日本	北米	欧州	南アジア	東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	28,098	10,691	228	8,756	35,953	83,728	—	83,728
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,339	27	1	1	3,956	6,326	△6,326	—
計	30,438	10,718	230	8,757	39,909	90,054	△6,326	83,728
セグメント利益又は 損失(△)	1,951	△141	△35	1,125	3,822	6,723	△0	6,723

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去2百万円およびたな卸資産の調整額△2百万円が含まれています。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 受注及び販売の状況

## ①受注状況

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の受注および受注残高は次のとおりです。

	受注高 (百万円)	前年同四半期比 (%)	受注残高 (百万円)	前期末比 (%)
国内	34,401	△12.9	54,143	13.3
海外	59,908	16.2	138,048	16.0
合計	94,310	3.6	192,192	15.3

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な受注物件)

所在地	納入先	概要
カナダ・オンタリオ州	セントロ・スクエア・コンドス	ヴォーン市の高層住宅向けエレベータ17台
マレーシア・セランゴール州	ラディア・ブキット・ジェルトン	商業施設・オフィス・住宅から成る複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計57台
香港	グレンイーグルス・ホンコン・ホスピタル	総合病院向けエレベータ・エスカレータ 計21台
中国・河北省	上上城理想新城	廊坊市の大規模住宅向けエレベータ132台
アラブ首長国連邦・ドバイ	マリーナ106	高層住宅向けエレベータ17台
東京都	(仮称) 松坂屋上野店南館建替計画	商業施設・オフィスから成る複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計30台
東京都	渋谷宮下町計画	商業施設・オフィス・住宅から成る複合施設向けエレベータ・エスカレータ
大阪市	梅田1丁目1番地計画ビル (仮称)	商業施設・オフィスから成る大型複合施設向けエレベータ・エスカレータ 計23台

## ②販売実績 (売上高)

当第2四半期連結累計期間における国内・海外別の販売実績 (売上高) は次のとおりです。

	販売高 (百万円)	前年同四半期比 (%)
国内	28,074	4.4
海外	55,653	18.2
合計	83,728	13.2

(注) 上記の金額に消費税は含めていません。

(当第2四半期連結累計期間における主な完成物件)

所在地	納入先	概要
米国・テキサス州	シェブロン1400スミス	大型オフィスビルの既設エレベータ・エスカレータ計40台のモダンゼーション
マレーシア・プトラジャヤ	i0iシティ・モール	大型複合商業施設向けエレベータ・エスカレータ・オートウォーク 計79台納入
香港	グローバル・ゲートウェイ・タワー	西九龍の高層オフィスビル向けエレベータ・エスカレータ 計12台納入
中国・江西省	シャングリ・ラ ホテル南昌	南昌市の最高級ホテル向けエレベータ・エスカレータ 計18台納入
中国・重慶市	首創鴻恩国際生活区	大規模住宅・商業施設向けエレベータ・エスカレータ 計160台納入
東京都	帝京大学八王子キャンパス	大学新校舎向けエレベータ・エスカレータ 計38台納入
仙台市	仙台市地下鉄東西線 御町駅・連坊駅	2015年12月開業予定の地下鉄駅舎向けエレベータ・エスカレータ 計24台納入
大阪府吹田市	市立吹田サッカースタジアム	Jリーグガンバ大阪のホームスタジアム向けエレベータ納入